

クラス	QA309	担当教員	山口 智子 (ヤマグチ サトコ)
テーマ	自己ナラティブとキャリア発達の関連を考える		
著書・論文 研究課題等	<p>著書『老いのこころと寄り添うこころ改訂版』編著、遠見書房、2017 『問いからはじめる発達心理学』共著、有斐閣、2016 『働く人びとのこころとケア』編著、遠見書房、2014 『はじめての質的研究—事例から学ぶ (生涯発達編)』共著、東京図書、2007 他</p> <p>論文「高齢者の回想法：技法からコミュニケーションの回復へ」『ナラティブとケア』4号、2010 他</p> <p>研究課題「キャリアデザインとメンタルヘルス」「人生の語り」「面接法を用いた質的研究」</p>		
<b>ゼミナール概要</b>			
キーワード：生涯発達心理学、臨床心理学、自己ナラティブ、キャリア発達、自己の回復			
<p><b>目的と内容</b></p> <p>自己ナラティブとは、自分自身に関する語りです。「自分とは何者か」というアイデンティティも自己ナラティブであり、キャリア発達に関連する AO 入試や就活の面接では、私たちは自己を語ることを求められます。また、私たちは挫折や大切なものを喪失したとき、「なぜこんなことになったのか」を問い、体験を意味づけようとし、否定的な意味づけは心身の不調につながりますが、出会いやカウンセリングなどによって、意味づけが肯定的に変容し、心身の不調が軽減する場合があります。どのような自己ナラティブが、キャリア発達を促すのでしょうか？また、心身の不調からの回復に役立つのでしょうか？</p> <p>ゼミでは、①主に、キャリア発達や自己ナラティブに関する理論や実践を学びます。また、②学びや研究を通して、論文を批判的に読む力、物事を深く考える力、自分自身の考えを伝える力をつけることを目的とします。</p> <p><b>授業計画等</b></p> <p>&lt;3年次&gt; 前期は、テキストを用いて、キャリア発達や自己ナラティブの理論や実践に関する知識を深めます。論文の読み方、まとめ方、討論希望点など問いの立て方を学び、討論に参加することを目指します。後期は、各自が関心を持つ領域の研究論文を読むことで、論文を批判的に読む力を身につけます。後期終了時には、各自が4年生で行う卒業研究のテーマを決めていく予定です。3年次は、卒業研究のための基礎作りでもあります。頑張りましょう！！</p> <p>&lt;4年次&gt; 各自が卒業研究に取り組みます。卒業研究は、自分自身がどんなことに興味を持っているのかを明らかにしていく、自分探しの作業でもあります。就職や進学など、各自のめざす進路によって、研究の内容や進め方は異なります。なお、卒業研究は自己ナラティブの研究でなくても認められます。自分のテーマを優先してください。</p>			
<b>担当教員からのメッセージ</b>			
<p>*ゼミ活動に積極的な人、報連相ができる人、何かつかみたい・変わりたいと思っている人、の全部、または、どれかに該当する人を募集します。</p> <p>*教員の現在の主な臨床フィールドは産業心理臨床で、週1回、企業の相談室でカウンセリングを担当し、働く人々のキャリア発達やメンタルヘルス向上に関わっています。また、児童相談所での福祉領域、精神科や脳神経外科での医療領域などの経験もあるので、進路を考える参考にしてもらえたらいいなと考えています。</p>			